

災害支援ボランティアとして現地活動を考えているみなさんへ

ボランティア活動が被災地の人々や他のボランティアの負担や迷惑にならないよう、ボランティア一人ひとりが自分自身の行動と安全に責任を持つ必要があります。

なお、参加に当たっては必ず本学のボランティア支援センターへ登録するようにしてください。ボランティア保険への加入手続きの他、活動内容や活動計画等の相談にも応じます。

災害支援ボランティア活動に参加する際の基本的な注意事項(必ず読んでください。)

1. 災害支援ボランティア活動とは、ボランティア本人の自発的な意思と責任により被災地での活動に参加・行動することですが、併せて家族や周囲の理解も大切です。
2. 必ず県市役所等のホームページで現地のニーズや受け入れ条件を確認してください。
3. 安全や健康についてボランティアが自分自身で管理しなければならないことを理解したうえで参加してください。体調が悪ければ、参加を中止することが肝心です。
4. 被災地で活動する際の宿所、水、食料、その他身の回りのものは、事前に被災地の状況を確認し、ボランティア自身で手配してください。(下記の表と図を参考にしてください。)
5. 被災地に到着した後は、必ず現地の災害支援ボランティアセンター等を訪れ、ボランティア活動の登録を行ってください。
6. 被災地では、現地受け入れ機関・団体等の指示、指導に従って活動してください。
7. 被災地では、被災した方々の気持ちやプライバシーに十分配慮し、マナーある行動と言葉づかいでボランティア活動に参加してください。
8. 被災地では、単独行動はできるだけ避けてください。
9. 活動中は休憩を心がけましょう。無理な活動は、思わぬ事故につながり、かえって被災地の人々の負担となってしまいます。
10. 備えとして、ボランティア活動保険に加入しましょう。本学のボランティア支援センターで手続きできます(自己負担なし)。

現地入りの際の持参品例

水	500mlのペットボトルを数本。水分補給以外にも使える。
食料	日持ちし、そのまま食べられるものがよい。糖分補給用にあめやチョコレートも
常備薬	絆創膏、生理用品、ウェットティッシュなど。応急処置は自分です。保険証のコピーも。
マスク	ほこりよけや感染防止に。防塵用が好ましい。
軍手	作業時の怪我防止としても多めに。タオルや手ぬぐいも
携帯ラジオ	最新情報を得るために。
雨具	カッパ、帽子や長靴。
ごみ袋	被災地に自分のゴミを残さない。
懐中電灯	予備の電池も用意する。
寝袋	個人で被災地入りするときに必要。毛布の用意も。

災害ボランティア服装例

